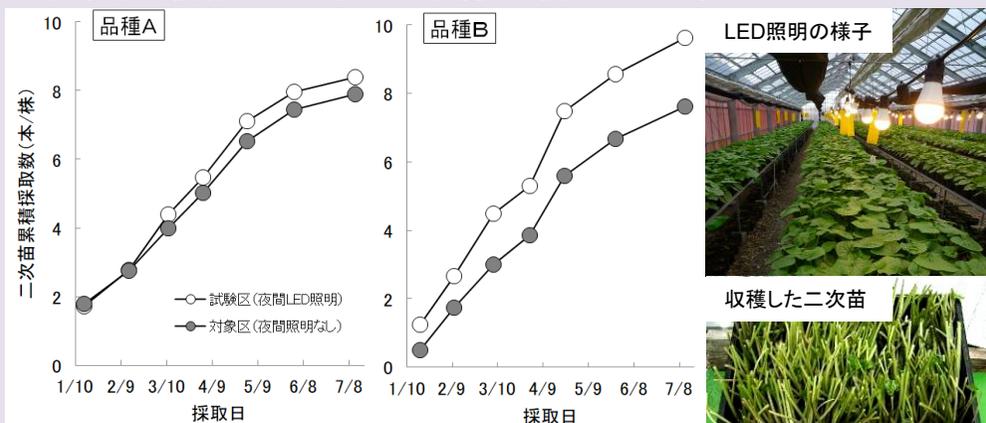


## 【全体概要】

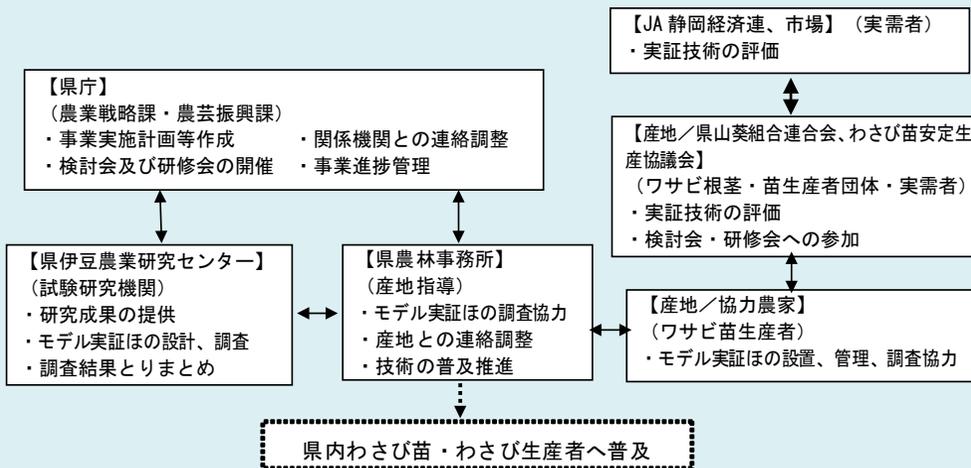
本県のワサビ産地における「苗の供給量不足」の解消を図るため、静岡県農林技術研究所伊豆農業研究センターわさび生産技術科で開発した「夜間LED照明による二次苗増殖技術」の普及を目指し、ワサビ苗生産体制の構築に取り組んだ。

## 新品種・新技術等の概要

- LEDを用いた夜間照明の効果として、一部の品種では、慣行区よりも親株1株あたりの二次苗採取本数が増加した。
- 夜間LED照明の効果が強く出た品種では、親株1株あたりの二次苗採取本数が慣行区と比較して、約1.3倍になった。



## 実施体制図



## 主な取組内容

- ワサビの夜間LED照明の施用方法やその効果等について、県内2地域で現地調査を実施した。
- 関係機関と連携し、夜間LED照明の施用方法を調査結果に基づいて検討した。
- ワサビ根茎生産者や市場等の実需者を含めた関係者に、現地調査の結果を情報共有した。
- 技術導入に向け、夜間LED照明施用条件や二次苗生産技術に関するマニュアル作成に取り組んだ。

## 実績と今後の展開

- 県内2地域で行った現地調査から、ワサビの二次苗増殖率に対する夜間LED照明の向上効果に、品種間差があることが明らかとなった。
- 夜間LED照明を利用したワサビの二次苗増殖技術について、マニュアルを作成した。
- 市場等の実需者のニーズと新技術の効果に品種間差があることを踏まえて、新技術を導入する品種を選定する必要がある。
- 今後、根茎生産者及び二次苗生産者に対し、マニュアルを活用して技術の普及を図り、ワサビ生産量の維持を目指していく。

ワサビ生産量 R2 236t